	3上 美局寺	専門学校	開講年度	平成31年度 (2	2019年度)	授業科目	測量学			
科目基礎	楚情報									
科目番号 0036					科目区分	国区分 専門 / 選				
授業形態		講義			単位の種別と単位	立数 履修単	<u>位: 1</u>			
開設学科		建築学分野			対象学年					
開設期		前期			週時間数	5 2				
開設期 1週時間数 12 フキスト:基本測量(実教出版)参考書:新版測量の基礎知識(市ヶ谷出版社教科書/教材 (市ヶ谷出版社) 新版地形・写真・応用測量/地図編集(市ヶ谷出版教出版)					市ヶ谷出版社) (市ヶ谷出版社		三角・多角・ 量のための基			
2 2 3 3 3 4 3 4 4 5 5 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8			 乜,鈴木 邦康							
到達目標	<u> </u>	DHINK SEC	2/21-1-71-93							
K準測量が Nラバー	ができる. ス測量ができ	きる. を理解し, 訪	:							
レーブリ	ノック									
	-		理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達し	ベルの目安		
					レベルを用いて		±			
平価項目1	1		水準測量の結果の整理ができる.		る.	- 12/1/02	レベルの取扱ができない.			
平価項目2	2		トラバース測量きる.	の結果の整理がで	セオドライト(用いて水平角と針る.	ライト(トランシット)を 〈平角と鉛直角を測定でき		ライト(トラン ごきない.	シット) の	
平価項目3	3		平板測量とGPS 法を説明できる	測量の仕組みや方	平板測量とGPS派明できる。	削量の仕組みを		平板測量とGPS測量の目的を理解できない。		
学科の発	到達目標工	頁目との関]係							
			9.1// 教育到達度目標 D							
<u>) </u>										
スロノン	ムゼ	pile / 17*	 築物を施工する上で	~ /a-t-_!_t-_	+ 	(ボノユ 7キケケノナノ)	5 2 64 5 7 7 7 7	(+\\Pi)		
既要		を通じて 学習・教	的知識を身につけ、 を測る器械の基本的学習する. 対育到達度目標:C(数学の知識,特に3	(10%) , D (90%)	とである。その 差の取り扱いた)ために,長さ (ど) を,主に	実習		
授業の進め方・方法			を学習する. ループはAグループと前・後半が逆となる。下記の「授業の内容」欄はAグループについて示している。 、各グループは少人数の班に分かれて実習を行う。実習は、作業に適した服装で行うこと。 時間外にも測量機器を貸し出すので、積極的に操作の習熟、精度の向上等に努めること。 ・実習課題(60点)+期末試験(40点)で、総合60点以上を合格とする。 ・ 合格者に対しては、上記点数に授業態度点(+10点~-10点)を加算する。授業態度の評価は、実習時の取り総 を総合的に評価する。 験等による合否判定:再測量や再試験に対する評価が60点以上であること。							
受業の進む	め方・方法	また, 各間 会議 会間 会議 会 できまた かいまい きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう まん きゅう	プはAグループと前 ゲグループは少人数の 引外にも測量機器を負 習課題(60点)+負 格者に対しては、」 統合的に評価する。 による合否判定:単	D班に分かれて実習 登し出すので,積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対	下記の「授業の内 を行う、実習は、 を行う、実習は、 物に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10	容」欄はAグル 作業に適した服情度の向上等に 合格とする. 0点)を加算す	ルプについて 装で行うこと 努めること.			
	め方・方法	まだった。また、まで、また、まで、また、まで、また。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	プはAグループと前 グループは少人数の 別外にも測量機器を負 習課題(60点) + 見 好格者に対しては、」 に対しては、」 による合否判定: 目:数学,物理	D班に分かれて実習 貸し出すので,積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 写測量や再試験に対 後関連科目:なし	下記の「授業の内を行う・実習は、からに操作の習熟、だった。 がに操作の習熟、だった。 ではないではない。 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	容」欄はAグJ 作業に適したII 情度の向上等に で合格とする。 か点)を加算す 上であること。	,一プについて 段装で行うこと 努めること. る. 授業態度の	示している. · D評価は,実習		
主意点		まだった。また、まで、また、まで、また、まで、また。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	プはAグループと前 ゲグループは少人数の 引外にも測量機器を負 習課題(60点)+負 格者に対しては、」 統合的に評価する。 による合否判定:単	D班に分かれて実習 貸し出すので,積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 写測量や再試験に対 後関連科目:なし	下記の「授業の内を行う・実習は、からに操作の習熟、だった。 がに操作の習熟、だった。 ではないではない。 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	容」欄はAグJ 作業に適したII 情度の向上等に で合格とする。 か点)を加算す 上であること。	,一プについて 段装で行うこと 努めること. る. 授業態度の	示している. · D評価は,実習		
主意点		また、 特に 会 接 会 に 会 に い の 等 い の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	プはAグループと前 イブループは少人数の イブループは単機器を 経営課題(60点)+ 合的に評価する。 による合否判定: はまる方で判定: は、数学、物理 い測量結果を得るた	D班に分かれて実習 貸し出すので,積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 写測量や再試験に対 後関連科目:なし	下記の「授業の内を行う・実習は、からに操作の習熟、だった。 がに操作の習熟、だった。 ではないではない。 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	容」欄はAグJ 作業に適した開 情度の向上等に で合格とする。 の点)を加算す 上であること。 実技に関する]	ループについて 残まで行うこと 努めること。 る.授業態度の こ こ 大の積み重ね	示している. · D評価は,実習		
注意点		また業子の価等を制度を開いた。また業子の価等を制度を対している。また、おは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	プはAグループと前 ・グループは少人数の ・グループは少人数の が大しても測量機器を覚 で関連関(60点)+ ・合的に評価する。 ・による合否判定: は目:数学、物理 が、測量結果を得るな が、測量結果を得るな	の班に分かれて実習 貸し出すので, 積極 期末試験 (40点) で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目: なし こめには, 測量機器	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグJ 作業に適したII 情度の向上等に で合格とする。 か点)を加算す 上であること。 実技に関する] 週ごとの到達	ープについて 現装で行うこと 努めること. る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標	示している. ・ の評価は,実習 が大切です.		
注意点		また、 特に 会 接 会 に 会 に い の 等 い の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	プはAグループと前がプレープと前がプレープは少人数の別外にも測量機器を負いでは、1 公的に評価する。	かれて実習 貸し出すので, 積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし こめには, 測量機器 事項を解説する.	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグJ 作業に適した開 情度の向上等に で合格とする。 の点)を加算す 上であること。 実技に関する]	ープについて 現装で行うこと 努めること. る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標	示している. ・ の評価は,実習 が大切です.		
注意点		また業子の価等を制度を開いた。また業子の価等を制度を対している。また、おは、またのではでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、	プはAグループと前がプレープと前がプレープは少人数の別外にも測量機器を負いでは、1 公的に評価する。	の班に分かれて実習 貸し出すので, 積極 期末試験 (40点) で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目: なし こめには, 測量機器	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグリ 作業に適した開 情度の向上等に 合格とする。)点)を加算す 上であること。 実技に関するコ 週ごとの到達 測量の意義や	ープについて 現装で行うこと 努めること. る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標	示している の評価は,実習が大切です.		
注意点		また業子の また	プはAグループと前 ・グループは少人数の ・グループは少人数の ・グループは少人数の ・グループは少人数の ・経済にも別量機器を ・経済に対しては、、 ・会的に評価する。 ・による合否判定: ・目:数学、物理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の班に分かれて実習 貸し出すので, 積極 期末試験 (40点) で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目: なし こめには, 測量機器 事項を解説する. 基本的な操作を解説	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグリ 作業に適した朋 情度の向上等に さ合格とする。 う点)を加算す 上であること。 実技に関するコ 週ごとの到達 測量の意義や レベルを設置	- プについて 現装で行うこと 努めること. る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標 基本事項を説明 し, 基本的な扱	示している. ・ の評価は,実習が大切です. 月できる. 操作ができる.		
注意点		また業容価・を能する。	プはAグループと前ろグループと前ろグループは少人数の別外にも測量(60点) + 引き	D班に分かれて実習 算し出すので, 積極 明末試験 (40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし こめには, 測量機器 事項を解説する. 基本的な操作を解説 行う.	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグリ 作業に適した朋 情度の向上等に さ合格とする。 う点)を加算す 上であること。 実技に関するコ 週二の意義や レベルを設置 水準測量で標	ープについて 現装で行うこと 野めること る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標 基本事項を説明 し, 基本的な損 高差を求める事	示している か評価は,実習が大切です. 月できる. 操作ができる.		
注意点		また業子の再 前 関 週 1 週 2 週 3 週 4 週 4 週	プはAグループと前 グループは少人数の 野型課題(60点)+ 治学のは 特別を持ちたい。 一部では 一がして 一がし 一がし 一がし 一がし 一がし 一がし 一がし 一がし	の班に分かれて実習 算し出すので、積極 期末試験(40点)で 東別量や再試験に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし こめには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグリ 作業に適した用 情度の向上等に を合格とする。 か点)を加算す 上であること。 実技に関するコ 週ごとの到達 測量の意義や レベルを設置 水準測量で標 水準測量で標	一プについて 最美で行うこと、 る. 授業態度の またの積み重ね 目標 基本事項を説明 し、基本的な損 高差を求める引	示している. ・ の評価は,実習が大切です. 月できる. 操作ができる. 厚ができる.		
注意点	画	また業子の一番を開まる。 また 美子 一部 一番	プはAグループと前ろグループと前ろグループは少人数の方では少人数の言語課題(60点)+1 合的に評価する。	の班に分かれて実習 算し出すので、積極 期末試験(40点)で 東別量や再試験に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし ためには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 でう。 でう。	下記の「授業の内を行う、実習は、 を行う、実習は、 的に操作の習熟、 で、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や	容」欄はAグリ 作業に適した用 情度の向上等に 合格とする。 か点)を加算す 上であること。 実技に関するコ 週ごとの到達 ルベルを量で標 ルベルルを量で標 水準測量で標 水準測量で標	一プについてと 装装で行うこと. る. 授業態度の こ大の積み重ね 目標 基本事項を説明 し. 基を求める引 高差を求める引 高差を求める引	示している の評価は,実置が大切です. 用できる. 操作ができる. 厚ができる. 厚ができる.		
主意点	画	また業子の一番を開業を開業を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発します。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	プはAグループと前 グループは少人数の グループは少人数の がにも測量値(60点)+身 路番に対しては、, 合的に評価する。 による合料理 目:数学,物理 い測量結果を得るな 授業内容 測量の意義や基本 レベルの設置法と 水準測量の実習を行 水準測量の実習を行 水準測量の実習を行 水準測量の実習を行 水準測量の実習を行	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし ためには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。	下記の「授業の内を行う. 実習は内を行う. 実習まり、実習まり、実際のに操作の習熟, がでは、 総合60点以上では、 は、 は	容」欄はAグリ 作業に向した開 情度の合とする。 から、 を加当する。 上であること。 実技に関する 測量の意義や ルベルを設置 水準測量で標 水準測量で標 水準測量で標 水準測量で標	一プについてと 最美で行うこと. る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標 基本事項を説明 こ、基本的な損 高差を求める引 高差を求める引 高差を求める引 高差を求める引	示している		
注意点	画	また業子の一番を開まる。 また 美子 一部 一番	プはAグループと前 ・グループと ・グループリ人数の ・グループリー ・グループリー ・グループリー ・グリープリー ・ 格者に対しても ・ 会の的に評価する。 ・ による合いで ・ によるで ・ にまるで ・ はい測量結果を得るな ・ 大準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実習を行い ・ 水準測量の実置を行い ・ 水準測量の実置を行い ・ 水準測量の実置を行い ・ 水準測量の誤差調	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 明末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし こめには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。 行う。 行う。 にする。 とないでは、測量である。 とないでは、 に対して、 には、 に対して、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	下記の「授業の内を行う.実習は, だけででできる。 実習は, 総合60点以上を点 (+10点~-10 する評価が60点以の正しい扱い方や)	容」欄はAグリ 作業に向した開 情度のとすります。 から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、か	一プについてと 最美で行うこと。 る. 授業態度の こ夫の積み重ね 目標 基本事項を説明 こ, 基本的な損 高差を求める引 高差を求める引 高差を求める引 高差を求める引 高差を求める引	示している かけ切です. 月できる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる.	引時の取り	
主意点 受業計画	画	また業子の一番を開業を開業を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発します。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	プはAグループと前ろグループと前ろグループと前ろグループと表数のます。	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 期末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし ためには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。	下記の「授業の内を行う.実習は, だけででできる。 実習は, 総合60点以上を点 (+10点~-10 する評価が60点以の正しい扱い方や)	容」欄はAグリ 作業に向した開 情度的とすい。 一点的とない。 一点的とない。 一点的とない。 一点的とない。 一点的とない。 一点的とない。 一点のであること。 一点のである。 一点のである。 一点のである。 一点のである。 一点のでは、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	一プについてと 現装のある。 授業態度の こまの積み重ね 三まの積み重ね 三ま本事項を説明を説明を求求があるる。 言言差を求求があるる。 言言差を求すができます。 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、	示している かけ切です. 月できる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる.	引時の取り	
主意点 受業計画	画	まだ まだ まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	プはAグリープと前ろグリープと前ろグリープと前ろグリープと表数のまた。	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 関いまは験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし ためには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。 行う。 行う。 でう。 でする。 とを解説し、演習を ヨン、平板測量、G	下記の「授業の内を行う.実習は, を行う.実習は, 的に操作の習熟, が、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や! はし、実習を行う	容」欄はAグリ 作業に向した開 情度のとすります。 から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、か	一プについてと 現装のある。 授業態度の こまの積み重ね 三まの積み重ね 三ま本事項を説明を説明を求求があるる。 言言差を求求があるる。 言言差を求すができます。 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、	示している かけ切です. 月できる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる. 最ができる.	引時の取り	
注意点 受業計画	画	まだ まだ まで まで まで まで まで まで まで まで まで まで	プはAグループと前ろの では かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 明末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし こめには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。 行う。 行う。 にする。 とないでは、測量である。 とないでは、 に対して、 には、 に対して、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	下記の「授業の内を行う.実習は, を行う.実習は, 的に操作の習熟, が、総合60点以上を 点(+10点~-10 する評価が60点以 の正しい扱い方や! はし、実習を行う	容」欄はAグリ 作業に向した開 情度のとすり たのとすり たのとすり たのとすり たのとすり たのとすり 大であること 実技にとの意義 との意義 との意義 との意義 との意義 との意義 との意義 とである であること では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	一プについてと 現装のある。 授業態度の こまの積み重ね 三まの積み重ね 三ま本事項を説明を説明を求求があるる。 言言差を求求があるる。 言言差を求すができます。 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、 こと、	示している	図時の取り 対量の基本	
受業計画	画	ま授合評み再 前 精 時:::を験 車 前 精 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	プはAグリープと前ろグリープと前ろグリープと前ろグリープと表数のまた。	の班に分かれて実習を 関しますので、積極 明末試験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に対 後関連科目:なし ためには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。 行う。 行う。 行う。 にする。 とを解説し、演習を ヨン、平板測量、G 電法と基本的な操作	下記の「授業の内を行う. 実習は, だいに操作の習熟, だいに操作の習熟, だい 総合60点以上を点(+10点~-10まで) する評価が60点以の正しい扱い方やではし、実習を行うという。 まず で で で で で で で で で で で で で で で で で で	容 解はA グル 作業度格 で 高 に 高 に 高 に の と に の に に の 。 に の に の に の に の に の に の 。 に の に の に の に の 。 に の に 。	ープで行こと 最装	示している. D評価は,実習が大切です. ###################################	習時の取り結 対量の基本 できる。	
E意点 受業計値	画	ま授合評み再 前 精 時:::を験 車 の	プはAグループと前ろグループと前ろグループと前ろグループと表数のまたが、	の班に分かれて実習を 関いますので、積極 関いまは験(40点)で 上記点数に授業態度 再測量や再試験に授業態度 後関連科目:なし を関連科目:なし こめには、測量機器 事項を解説する。 基本的な操作を解説 行う。 行う。 行う。 行う。 行う。 行う。 行う。 行う。	下記の「授業の内を行う. 実習のに操作の召熟, だいに操作の召熟, だい 総合60点以上を では 10点~ - 10 では 10点~ - 10 では 10点~ - 10 では 10点~ - 10 では 10人 実習を行う に アS測量の基本事 でを解説し、実習	容」欄はAグ川作業ではした時間では、上で第一次では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	一プでうこと。 ででする。 授業態度の 大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の積み重ね 三大の移動のある。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大の移動のなる。 三大のを、 一大のを、 三大のを 一な 一な 一な 一な 一な 一な 一な 一な 一な 一な	示している	習時の取りá 引量の基本 ごきる. できる.	
E意点 受業計値	自 1stQ	ま授合評み再 前 精 時:::を験 種	プはAグループと前ろグループと前ろグループとも関係器と + 1 を 1 を 2 を 2 を 3 を 4 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	かれて実習を明に分かれて、積極ので、積極ので、積極ので、積極ので、積極ので、積極のに対象に授業態に対策を対し、対象には、測量機器を解説する。基本的な操作を解説である。をを解説し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、演習を対し、実習を行う。	下記の「授業の内を行う.実習のに操作の習熟, 変 総合60点以上を	容」欄はAグル 作業に向した明 行業に向して 一点的とかあることである。 実技にである。 一点のとかあることである。 一点のでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り組 引量の基本 できる。 できる。	
E意点 受業計値	画	ま授合評み再 前 精 時::	プ(はAグリープと前の が で が で が で か で か で か で か で か で か で か で	かて、実習を行う。 実習を行う。 実習を行う。 実習を行う。 実習を行う。	下記の「授業の内を行う.実習のに操作の習熟, だ 総合60点以上を	容」欄はAグ川 作業ではした時でである。 大変を持たった。 大変を表する。 大変を表を、 たる。 大変を表を、 たる。 大変を表を、 たる。 大変を表を、 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。 たる。	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点 受業計画	自 1stQ	ま授合評み再 前 精 時::を験 連の 前 精 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週	プはAグリープと前ろのリープと前ろのリープとでは (40 に) という (40 に)	つ班に分かれて、 東部に分かれて、 東部に分かれて、 東部に分かでで、 東部に対して、 東部に対して、 東部に対して、 東部には、 東部には、 東京を解説する。 基本的な操作を解説 でである。 をを解説する。 をを解説する。 をを解説する。 をを解説する。 ををををををををををををををできる。 大きなが、 大きなが、 と述え、 東国をを解説する。 ををををををををををできる。 大きなが、 大きなが	下記の「授業の内を行う.実習は、対象合60点以上を行う。実習は、対象合60点以上を対象である。 という まず では できます できます できます できます できます できます できます できます	容」欄はAグ川 作業ではした時でであった。 実技にであるコースでは、一次では、大変では、であるコースでは、であるコースでは、であるコースでは、であるコースでは、できないが、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では	ル 実際	示している	習時の取り 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点 受業計區	自 1stQ	ま授合評み再 前 精 時:::を験 車	プはAグリープと前ろのリーツを開始を表す。 では、アンドラン・アンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドア	つ班に分かれて、 東那に分かれて、 東那に分かれて、 東那に分かでで、 東那は、 中間、 はいは、 中間、 を解説する。 を解説する。 を解説する。 をを解説して、 ををを行うう。 です。 です。 です。 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のででは、 のでででする。 ををを行うる。 とをを行うる。 とまっている。 とないな。 とないる。 とないる。 とないる。 とないな。 とないる。 とないる。 と	下記の「授業の内を行う.実習の人を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.	容」 欄はAグリケー では では で で で で で で で で で で で で で で で で	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り組 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点 受業計區	自 1stQ	ま授合評み再 前 精 時::を験 連の 前 精 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週 り 週	プはAグリープと前ろのリーツを開始を表す。 では、アンドラン・アンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドア	つ班に分かれて、 東部に分かれて、 東部に分かれて、 東部に分かでで、 東部に対して、 東部に対して、 東部に対して、 東部には、 東部には、 東京を解説する。 基本的な操作を解説 でである。 をを解説する。 をを解説する。 をを解説する。 をを解説する。 ををををををををををををををできる。 大きなが、 大きなが、 と述え、 東国をを解説する。 ををををををををををできる。 大きなが、 大きなが	下記の「授業の内を行う.実習の人を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.	容」欄はAグ川 作業ではした時でであった。 実技にであるコースでは、一次では、大変では、であるコースでは、であるコースでは、であるコースでは、であるコースでは、できないが、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点 受業計區	自 1stQ	ま授合評み再 前 精 時:::を験 車	プはAグリープと前ろのリーツを開始を表す。 では、アンドラン・アンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドアンドア	かれて実行のです。 東京に分かでで、 東京に分かでで、 東京に対して、 東京に対して、 東京には、	下記の「授業の内を行う.実習の人を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.	容」 欄はAグリケー では では で で で で で で で で で で で で で で で で	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点 受業計画	1stQ 2ndQ	ま授合評み再 前 精 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	プはAグリング は は かっぱい は かっぱい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい	型では、 関連に分かでで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	下記の「授業の内を行う.実習の人を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.	容」 欄はAグリケー では では で で で で で で で で で で で で で で で で	に で で で で で で で で で で で で で	示している	習時の取り 動量の基本 できる。 「できる。 「できる。	
主意点	1stQ 2ndQ	ま授合評み再 前 精 週 1 2 週 3 週 週 3 週 週 3 週 週 3 週 週 1 1 1 2 週 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 5 1 6 1 1 6 1 6	プはAグリープと教の デグループと教の デグループと教の に対していましています。 がは、一切の に対していましています。 がは、一切の に対しています。 がは、一切の にいいます。 では、一切の にいいます。 では、一切のでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	型に分かで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	下記の「授業の内を行う.実習の「技業の内を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.実習を行う.	容」 欄はAグリケー では は は は は は は は は は は は は は は は に に に に	に で で で で で で で で で で で で で	示している. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	習時の取り記さる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
主意点 受業計画	国 1stQ 2ndQ	ま授合評み再 前 精 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	プ(はAグリープ(はAグリープ)には (1)に (1)に (1)に (1)に (1)に (1)に (1)に (1)に	型では、 関連に分かでで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	下記の「授業の内を行う」、実習の内を行う。実習を行う。実習を行う。 (十10点~ - 10 する評価が60点以の正しい扱い方や) はし、実習を行う。 アンリー アンリー アンリー アンリー アンリー アンリー アンリー アンリー	容」にはなり、	に表する。 大標本 基本 求求求求第2 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	示している	習時の取り記さる。 できる。 できる。 できる。 できる。	

			涯	測量の結果を整理できる。			4				
評価割合											
	試験	発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計			
総合評価割合	40	5	0	0	10	0	0	100			
基礎的能力	0	0		0	0	0	0	0			
専門的能力	40	5	0	0	10	0	0	100			
分野横断的能力	0	0		0	0	0	0	0			